

授業科目名・形態	介護福祉論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	中里 操	実務経験の有無	無	開講期	4年前期

### 【授業の主題】

本講では高齢者や障害者の生活支援にあたって不可欠な介護実践（私的・社会的介護システム）について、社会福祉固有の視点からアプローチする。介護問題を直接的な介護実践技術や支援内容の問題にとどまらず、当事者及び家族の生活維持におけるニーズ保障という視点から理解する。要介護状態に伴う生活問題として認識する。そのうえで、介護実践過程で現れる課題を捉えて、その社会的対策としての生存権に規定された権利保障システムとしての「社会福祉」という視点から、制度・政策的な対応について総括的に論じる。

### 【到達目標】

1. 直接介護を必要としている人、その人を支える家族問題、地域の視点から介護システムを理解する。
2. 介護を必要としている人に寄り添った、よりよい介護サービスを提供するために、大切なのは実践者自身の健康生活である。この自身の生活力（質と量）を高めるための働き方の問題も正しく認識する。
3. 地域福祉の最重要課題である地域包括ケアの推進における他の制度・機関、他職種との連携問題などについて対応できる実践力を培う。

### 【授業計画・内容】

- 第1回 介護問題を考える①（私的介護と社会的介護）
- 第2回 介護問題を考える②（社会福祉問題としての介護問題）
- 第3回 介護実践と介護保険制度・介護行政・社会福祉制度・政策から福祉社会システムへの転換
- 第4回 介護の実践内容（尊厳を支える介護と自立支援、個別ケアとICF）
- 第5回 介護実践のマネジメント（ケアマネジメントとリスクマネジメント）
- 第6回 介護実践における連携、新しい流れ（地域包括ケアとそのシステム）
- 第7回 介護実践における連携、新しい流れ（地域包括ケアとそのシステム）
- 第8回 介護実践者における健康と生活（介護労働を考える）

### 【授業実施方法】

講義（必要に応じて介護実習体験における学びを教材とする。）

### 【授業準備】

新聞等により社会と介護に関する関連事項に関心を寄せておくこと。

### 【主な関連する科目】

社会福祉概論・社会保障論・公的扶助論・高齢者福祉論・障害者福祉論・地域福祉論等

### 【教科書等】

特に指定はない。資料配付。

### 【参考文献】

適宜紹介する。

### 【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 10%、レポート 30%、期末試験成績 60%の総合評価とする。

### 【学生へのメッセージ】

本講は介護に関する直接的、基本的な専門知識・技術はすでに履修・既得済であることを前提にすすめる。学修に当たって大事なことはミクロな介助・支援の実践レベルから、マクロな介護政策の問題まで含めて、介護問題に関心を寄せることである。「なぜだろう」と疑問を感じ、考える力量を高める事である。積極的な受講を期待する。